

小児科

(1) スタッフの紹介、資格

2023 年 4 月 1 日に大西健二、後藤直人、中里亦思、中西隆哉、藤田耕世、古川智偉、堀創馬、光吉康太、山本祐が着任、2024 年 3 月 31 日に金 奏希、塚原堯、山形雄伸、三輪将大が退職、2024 年 4 月 1 日に安心院蔵史、上野薫、杉原健介、滝本勇至、土井修平、野々原洋輔、宮里茉樹が着任し、現在の体制に至っている。

病院長

秦 大資： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本小児科学会代議員、
日本アレルギー学会認定専門医・指導医、
日本小児アレルギー学会評議員、京都大学臨床教授

小児科 主任部長

塩田光隆： 日本小児科学会認定専門医・指導医、
日本血液学会認定血液専門医・指導医
日本小児血液がん学会指導医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

新生児部門 主任部長

水本 洋： 日本小児科学会認定専門医・指導医
日本 NCPR(新生児蘇生法) コアインストラクター
日本周産期新生児医学会認定周産期（新生児）専門医・指導医
日本周産期新生児医学会 B（小児科）領域評議員
京都大学小児科学教室非常勤講師

循環器部門部長

渡辺 健： 日本小児科学会認定専門医・指導医
日本小児循環器学会認定小児循環器専門医、
日本胎児心臓病学会胎児心エコー認証医
日本小児循環器学会評議員、日本小児肺循環研究会幹事、
近畿胎児心臓病研究会幹事

感染症部門部長

羽田敦子： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本感染症学会評議員、
ICD(infection control doctor)、日本感染症学会感染症専門医・指導医、
抗菌化学療法指導医、日本小児感染症学会認定医・暫定指導医、

日本夜尿症学会理事、日本小児科医会子どもの心相談医

副部長 吉岡孝和： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本アレルギー学会認定専門医
日本リウマチ学会認定専門医

副部長 熊倉 啓： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本小児神経学会認定小児神経科専門医
日本てんかん学会認定てんかん専門医

副部長 中川権史： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本アレルギー学会認定専門医
日本リウマチ学会認定専門医

副部長 阿水利沙： 日本小児科学会認定専門医・指導医、
日本周産期新生児医学会認定周産期（新生児）専門医

副部長 三上真充： 日本小児科学会認定専門医・指導医

副部長 高折 徹： 日本小児科学会認定専門医

副部長 兵頭勇紀： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本小児神経学会認定小児神経科専門医

副部長 大西健二： 日本小児科学会認定専門医

医員2名： 磯部 葵、酒井達紘

レジデント 20名： 坂口大典、高田尚志、中川隆太郎、松村誠紀、三浦崇徳、後藤直人、中里亦思、中西隆哉、藤田耕世、古川智偉、堀創馬、光吉康太、山本祐、安心院蔵史、上野薫、杉原健介、滝本勇至、土井修平、野々原洋輔、宮里茉樹（うち4名は他病院へ異動、研修中）

(2) 診療体制

午前に一般外来、午後に各種専門外来、乳児検診、予防接種外来を行なっている。アレルギー外来を火曜日に中川、水曜日に吉岡、金曜日に秦が担当し、循環器外来（火）、胎児心臓エコー外来（火）を渡辺、循環器外来（月曜日・水曜日）を交代医師、腎臓・夜尿外来（水）を羽田、血液外来を月曜日に塩田、水曜日に三上、新生児外来を木曜日に水本、金曜日に阿水、神経外来を月曜日に高折、火曜日・水曜日に兵頭、木曜日・金曜日に熊倉、内分泌・代謝外来を月曜日に河井（非常勤医）、木曜日に山下（非常勤医）が担当している。

2023年度の外来患者数、時間外受診患者数、救急搬送患者数、入院患者数、平均在院日数、疾患別入院患者数、主たる疾患別平均在院日数は以下の表の通りである。2023年度の入院患者実数 3310 名（対前年比 706 名増、27%増）、外来のべ患者数 34525 名（対前年比 2914 名増、9.2%増）であった。

(3) 教育

当科は日本小児科学会認定小児専門医研修施設、日本小児科学会認定小児専門医研修支援施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児血液・がん学会認定小児血液・がん専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会指定研修施設、日本小児神経学会認定小児神経専門医研修施設として認定されており、2017年度からは小児科専門研修基幹病院に認定され小児科各領域専門医が研修医の教育を行なっている。

《定期的教育活動》

主任部長 秦 大資 京都大学医学部小児科臨床教授
未熟児・新生児部門部長 水本 洋 京都大学医学部小児科非常勤講師

《院内勉強会》

小児科産婦人科合同カンファレンス 月 1 回
小児科医師看護師合同カンファレンス 月 1 回

(4) 著作・学会・発表その他の研究活動

【論文発表】

「原著」

1. Uchihara Y, Yamashita S, Watanabe H, Hata D, Hata A. Effects of short-term treatment with vibegron for refractory nocturnal enuresis. *Pediatr Int* 2023 Jan;65(1):e15464. doi: 10.1111/ped.15464.
2. Kazuhiro Kobayashi, *Atsuko Hata *, Waki Imoto, Shigeki Kakuno, Wataru Shibata, Koichi Yamada, Hiroshi Kawaguchi, Norihiro Sakurai, Kiyotaka Nakaie, Yukari Nakatsuka, Toshikazu Ito, Kazuya Uenoyama, Tamotsu Takahashi, Satoru Ueda, Toshiro Katayama, Masahide Onoue, Hiroshi Kakeya. The Clinical Evaluation of Third-generation Cephalosporins as Definitive Therapy for *Enterobacter* spp. and *Klebsiella aerogenes* Bacteremia. *Internal Medicine*, 2023 Jul 1; 62 (13) : 1921-1929. doi: 10.2169/internalmedicine.0612-22.
3. Yamamori A, Hamada M, Muramatsu H, Wakamatsu M, Hama A, Narita A, Tsumura Y, Yoshida T, Doi T, Terada K, Higa T, Yamamoto N, Miura H, Shiota M, Watanabe K, Yoshida N, Maemura R, Imai M, Miwata S, Narita K, Kataoka S, Taniguchi R, Suzuki K, Kawashima N, Nishio N, Iwafuchi H, Ito M, Kojima S, Okuno Y, Takahashi Y*. Germline and somatic RUNX1 variants in a pediatric bone marrow failure cohort. *Am J Hematol*. 98: E102-E105, 2023
4. Daiki Tanno, Kyoichi Saito, Yasuaki Tomii, Yukari Nakatsuka, Kohei Uechi, Kazutaka Ohashi, Tomoo Hidaka, Yukio Yamadera, Atsuko Hata, Masahiro Toyokawa, and Hiroki Shimura. A Multicenter Study on the Utility of Selective Enrichment Broth for Detection of Group B Streptococcus in Pregnant

Women in Japan. Jpn J Infect Dis. 2024 Mar 21;77(2):68-74. doi: 10.7883/yoken.JJID.2023.295.
(査読あり)

5. Kobayashi K, Hata A, Imoto W, Kakuno S, Shibata W, Yamada K, Kawaguchi H, Sakurai N, Ito T, Uenoyama K, Takahashi T, Ueda S, Katayama T, Onoue M, Kakeya H*. Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by *Citrobacter freundii* complex, *Enterobacter cloacae* complex, and *Klebsiella aerogenes*. J Chemother. 2024 Mar 7;1-11. doi: 10.1080/1120009X.2024.2323326. (査読あり)
6. 山形雄伸, 坂口大典, 藤尾光, 三上真充, 塩田光隆, 羽田敦子, 宗田武, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人* 二次性単一症候性夜尿症の治療中に卵巣未分化胚細胞腫の診断に至った9歳女児夜尿症研究 28巻 Page43-47 (2023. 07) (査読あり)

「総説」

1. 羽田 敦子

帯状疱疹の流行状況と今後の動向 COVID-19 パンデミック時代のワクチンとの関連について
バムサジャーナル(2185-9361)35巻4号 Page198-204(2023. 10) (査読なし)

「症例報告」

1. 藤尾光, 熊倉啓, 高田尚志, 塚原堯, 梶本智史, 兵頭勇紀, 秦大資, 塩田光隆

舌咽神経麻痺による構音障害・嚥下困難が先行したギラン・バレー症候群の11歳男児例
小児科臨床 76号3巻 395-399頁 2023年8月

2. 金奏希, 三上真充, 辰巳正樹, 三輪将大, 塩田光隆*

クラリスロマイシンによる薬物性肝障害が疑われた一例 小児科臨床 2024/3/20 受理(査読有り)

3. Nagata T, Nakagawa K*, Tsurumi F, Watanabe K, Endo T, Hata A.

A case of novel NFKB2 variant with hypertensive emergency and nephrotic syndrome leading to CKD 5D.
Pediatr Nephrol. 2023 Mar accept (査読あり)

4. 坂口大典, 三上真充, 酒井達紘, 藤尾光, 秦大資, 石前峰斉, 江口真理子, 塩田光隆

NUTM1 融合遺伝子を有した乳児急性リンパ性白血病の一例
日本小児血液・がん学会雑誌 2023年12月15日受理 (査読あり)

「著書」

1. 水本洋

新生児の非侵襲モニタリング

今日の治療指針 私はこう治療している 2024年版 1419 ページ

「学会発表」

1. 永田徹, 中川権史, 羽田敦子, 鶴見文俊, 宇佐美亜由子, 金森良介, 藤尾光, 高柳俊亮, 遠藤知美, 塚本達雄, 秦大資 高血圧緊急症・ネフローゼ症候群を呈し、末期腎不全から腹膜透析に至った NFKB2 異常症の1例 第126回日本小児科学会学術集会 2023年4月14~16日 東京都
2. 酒井達紘, 吉岡孝和, 中川隆太郎, 松村誠紀, 塚原堯, 高屋龍生, 羽田敦子, 岡元淳, 金井理絵, 金丸眞一, 中島俊樹, 井上大生, 秦大資 全身型若年性特発性関節炎に *Mycobacterium abscessus* による難治性中耳炎を合併した1例 第126回日本小児科学会学術集会 2023年4月14~16日 東京都
3. 小林和博, 羽田 敦子, 井本 和紀, 覺野重毅, 柴多渉, 山田康一, 川口博資, 櫻井紀宏, 高橋有, 上田 覚, 掛屋弘 *Enterobacter* 属および *Klebsiella aerogenes* 菌血症に対する第3世代セファロスポリンの決定的治療法としての臨床的評価 第97回日本感染症学会総会・学術講演会・第71回日本化学療法学会学術集会合同学会 2023年4月28日-30日 神奈川県
4. 辻本考平, 丸毛聡, 中塚由香利, 宇野将一, 藤川潤, 羽田敦子 次世代シーケンサーを用いたメロペネムおよびタゾバクタム/ピペラシリンによる腸内細菌叢への影響の比較(会議録) 第97回日本感染症学会総会・学術講演会・第71回日本化学療法学会学術集会合同学会 2023年4月28日-30日 神奈川県
5. 梶本智史, 熊倉啓, 永田徹, 兵頭勇紀, 高折徹, 塩田光隆 抗MOG抗体関連疾患の4小児例 第65回日本小児神経学会 2023年5月26日 岡山県
6. 塚原堯, 鶴見文俊, 渡辺健 当院で経験した小児COVID-19関連多系統炎症性症候群の2例 第59回日本小児循環器学会学術集会 2023年7月6-8 神奈川県(ポスター発表)
7. 酒井達紘, 鶴見文俊, 渡辺健 当院における川崎病再発症例の検討 第59回日本小児循環器学会学術集会 2023年7月6-8日 神奈川県(ポスター発表)
8. 坂口大典, 鶴見文俊, 酒井達紘, 金森良介, 渡辺健 川崎病亜急性期に生じたトロポニンI上昇を伴う心外膜炎に対して中等量アスピリンが奏効した2例 第59回小児循環器学会総会・学術集会 2023年7月8日 神奈川県(ポスター発表)
9. 山形雄伸, 鶴見文俊, 渡辺健 胎児心臓超音波検査にて動脈管形態異常を認めた症例の経過について

第59回日本小児循環器学会学術集会 2023年7月6-8 神奈川県(ポスター発表)

10. 磯部葵, 鶴見文俊, 渡辺健, 坂口平馬, 黒寄健一, 市川肇 周期性嘔吐症と診断された右側相同・Fontan術後の一例 第59回日本小児循環器学会学術集会 2023年7月6-8 神奈川県(ポスター発表)
11. 金森良介, 鶴見文俊, 酒井達紘, 塚原堯, 渡辺健 Carvedilol 投与により、軟部肉腫再発例に対するPazopanib 投与が可能であったがん治療関連心機能障害の一例 第59回日本小児循環器学会学術集会 2023年7月6-8日 神奈川県(ポスター発表)
12. 水本洋 挿管もルートも苦手な貴方でも、救命できますラリマとへそで日本周産期新生児医学会 2023年7月10日 愛知県
13. 山形雄伸, 坂口大典, 藤尾光, 三上真充, 塩田光隆, 宗田武, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人, 羽田敦子 二次性単一症候性夜尿症の治療中に卵巣未分化胚細胞腫の診断に至った9歳女児 第34回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2023年7月15日-16日 長野県
14. 新田優紀子, 山口かおり, 田中かおり, 久保優佳, 羽田敦子 DVSS 導入による昼間尿失禁患児への適切なウロセラピー実施に向けた取り組み 第34回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2023年7月15日-16日 長野県
15. 坂口大典, 三上真充, 山形雄, 藤尾光, 秦大資, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人, 宗田武, 塩田光隆 便秘症・夜尿症に対する長期治療中に急激な腹痛が出現し、救急外来を受診した卵巣原発未分化胚細胞腫の9歳女児 第65回小児血液・がん学会学術集会 2023年9月30日 北海道
16. 三上真充, 秦大資, 塩田光隆 頭頸部領域に多発した、乳児期発症の腹腔外発生デスモイド型線維腫症の治療経験 第65回日本小児血液・がん学会学術集会 2023年9月29日-10月1日 北海道
17. 古川智偉, 熊倉啓, 高折徹, 兵頭勇紀, 岡本伸彦, 塩田光隆 上半身優位の筋力低下所見を呈した、CLTC 遺伝子異常症の男児例 第73回日本小児神経学会近畿地方会 2023年9月30日 京都府
18. 兵頭勇紀, 永田徹, 梶本智史, 高折徹, 熊倉啓, 岡本伸彦, 山口宏 PACS1 神経発達症の2症例 第56回日本てんかん学会 2023年10月20日 東京都
19. 三輪将大, 水本洋, 阿水利沙 未診断のバセドウ病母体から出生し、遅発性に甲状腺機能亢進症を合併した早産児 日本新生児成育医学会 2023年11月3日 神奈川県
20. 水本洋 「新生児蘇生法の将来の可能性-みらいのカタチ-」今後、SGA (supraglottic airway) は必ず普及する 日本新生児成育医学会 2023年11月3日 神奈川県

- 2 1. 成宮牧子, 澤田優子, 本田憲胤, 水本洋, 阿水利沙 NICU 入院経験のある児の3歳までの発達における母親の育児不安について—KH Coder による分析から 日本新生児成育医学会 2023 年 11 月 3 日 神奈川県
- 2 2. 礪部葵, 水本洋, 阿水利沙 20.2g/dL のヘモグロビン差を認めた TAPS (Twin Anemia Polycythemia Sequence) 日本新生児成育医学会 2023 年 11 月 4 日 神奈川県
- 2 3. 三上真充, 秦大資, 塩田光隆 化学療法を選択した、乳児期発症のデスモイド型線維腫症の一例 阪奈和小児がん研究会 (固形腫瘍) 2023 年 11 月 4 日 Web 開催
- 2 4. 中川隆太郎, 羽田敦子, 吉岡孝和 オミクロン株(BA1. 1. 1, BA1. 1. 2)流行期における COVID-19 の特徴 インフルエンザ・RSV 感染症との鑑別診断の要諦 第 55 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2023 年 11 月 25-26 日 愛知県
- 2 5. 小林喜実代, 三上真充, 木村はなこ, 島本真弓, 宇野たくみ, 佐藤正人 養育支援チーム報告例から見えてきた課題～評価基準と今後の予防的支援について考える～ 日本こども虐待防止学会 2023 年 11 月 25 日-11 月 26 日 滋賀県
- 2 6. 木村はなこ, *三上真充*, 小林喜実代, 島本真弓, 宇野たくみ, 佐藤正人 虐待対策チームの報告件数から見る教育体制の課題 日本こども虐待防止学会 2023 年 11 月 25 日-11 月 26 日 滋賀県
- 2 7. 吉岡孝和 保険適応に加わったステロイドパルス、追加治療としての現状と課題 第 48 回近畿川崎病研究会 2024 年 3 月 2 日 大阪府
- 2 8. 水本洋 ためらうな新生児搬送のポイントはここ 大阪府助産師会定例研修会 2024 年 3 月 9 日 大阪府
- 2 9. 坂口大典, 三上真充, 山形雄伸, 藤尾 光, 秦 大資, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人, 宗田 武, 塩田光隆 便秘症・夜尿症に対する長期治療中に急激な腹痛が出現した卵巣原発未分化胚細胞腫の 9 歳女兒の一例 第 37 回近畿小児科学会 2024 年 3 月 10 日 大阪府
- 3 0. 塚原亮, 中川権史, 高田尚志, 中川隆太郎, 三輪将大, 礪部葵, 山形雄伸, 鶴見文俊, 羽田敦子, 塩田光隆 当院で経験した小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群 (MIS-C) の 3 例 第 37 回近畿小児科学会 2024 年 3 月 10 日 大阪府
- 3 1. 光吉康太, 中川権史, 中里亦思, 中川隆太郎, 山形雄伸, 吉岡孝和, 羽田敦子, 秦大資, 塩田光隆 アダリムマブが著効した β D グルカン高値の若年性脊椎関節炎の 1 例 第 37 回近畿小児科学会 2024

年3月10日 大阪府

- 3 2. 後藤直人, 兵頭勇紀, 熊倉啓, 光吉康太, 三浦崇徳, 三上真充, 塩田光隆 一過性意識障害、単発けいれん発作の精査中、D-dimer 上昇から頭蓋内出血に気付かれ身体的虐待が男児例 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 3. 藤田耕世, 堀創馬, 三輪将大, 金奏希, 磯部葵, 羽田敦子, 塩田光隆 アデノウイルス性胃腸炎を疑われて入院後に0-157感染症が判明しHUSを発症した5歳女児 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 4. 中川隆太郎, 羽田敦子, 吉岡孝和 オミクロン株 (BA1. 1. 1, BA1. 1. 2) 流行期における外来での統計データから分析されるCOVID19の特徴 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 5. 三浦崇徳, 高折 徹, 山形雄伸, 兵頭勇紀, 三上真充, 熊倉啓, 水本 洋, 秦 大資, 武内俊樹, 塩田光隆 KCNQ2 遺伝子異常症に重症新生児黄疸が合併した1症例 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 6. 中里亦思, 三輪将大, 高田尚志, 磯部葵, 三上真充, 中川権史, 吉岡孝和, 塩田光隆, 秦大資 慢性再発性多発骨髓炎を疑われ、病変が右腸骨と右上腕骨に局限していた急性リンパ性白血病の1例 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 7. 山本祐, 三上真充, 三輪将大, 酒井達紘, 園田真理, 遠藤耕介, 佐藤正人, 秦大資, 塩田光隆 著明な体重減少を認めていたが、手術により経口摂取が可能になった正中弓状靱帯圧迫症候群の11歳女児例 第37回近畿小児科学会 2024年3月10日 大阪府
- 3 8. 三上真充, 塩田光隆 頭頸部領域に多発した、乳児期発症の腹腔外発生デスモイド型線維腫症の治療経験 第46回近畿小児血液・がん研究会 2024年3月16日 和歌山県
- 3 9. 水本洋 NICU の今、子どもたちの未来に願うこと 森ノ宮医療大学卒後教育センター主催作業療法アップデート研修会 2024年3月23日 大阪府

(5) 院外活動、地域医療との関わり

1 秦 大資

大阪府国保支払い基金審査医

2 塩田光隆

第19回医学生・若手医師の為の小児科診療最前線 2023年6月(年1回)開催 座長

3 塩田光隆

第36回 北野小児科学術講演会 2023年11月18日(年1回)開催 座長

4 水本洋

とことん新生児セミナー(チューターとして参加)

2021年9月11日(Web)

5 水本洋

NCPR出張講習会

2021年9月18日 あきせ産婦人科(Sコース)

2021年9月19日 川島産婦人科(Aコース)

2021年10月31日 川島産婦人科(Aコース)

6 水本洋

NCPR院内開催コース

2021年12月3日 Bコース

2021年12月17日 Bコース

小児科統計

*** 外来患者数（小児科）年報 ***

対象年月： 2023年4月～2024年3月
病院： 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

小児科	診療 実日数	合 計				1日平均 患者数	地域支援 紹介率	初 診（再 掲）			再 診（再 掲）			時間外 緊急入院	平 土
		合計	時間内	時間外	救急車での搬送患者（再掲）			合計	時間内	時間外	合計	時間内	時間外		
4月	20.0	2,825	2,094	731	164	141	70.2%	577	190	387	2,086	1,904	182	162	20 0
5月	20.0	3,187	2,298	889	199	159	80.1%	666	219	447	2,320	2,079	241	201	20 0
6月	22.0	3,428	2,575	853	241	156	80.7%	705	256	449	2,564	2,319	245	159	22 0
7月	20.0	3,331	2,380	951	283	167	71.9%	758	230	528	2,362	2,150	212	211	20 0
8月	22.0	3,419	2,584	835	266	155	64.7%	722	242	480	2,542	2,342	200	155	22 0
9月	20.0	2,888	2,142	746	179	144	77.9%	563	181	382	2,173	1,961	212	152	20 0
10月	21.0	2,816	2,043	773	154	134	77.9%	616	188	428	2,033	1,855	178	167	21 0
11月	20.0	2,714	1,969	745	176	136	55.2%	606	160	446	1,975	1,809	166	133	20 0
12月	20.0	2,987	2,159	828	185	149	67.7%	698	193	505	2,131	1,966	165	158	20 0
1月	19.0	2,871	2,080	791	187	151	47.4%	682	203	479	2,002	1,877	125	187	19 0
2月	19.0	2,809	2,002	807	188	148	61.9%	689	155	534	1,971	1,847	124	149	19 0
3月	20.0	3,250	2,406	844	211	163	65.2%	751	214	537	2,333	2,192	141	166	20 0
合計	243.0	36,525	26,732	9,793	2,433			8,033	2,431	5,602	26,492	24,301	2,191	2,000	243 0
平均	20.3	3,044	2,228	816	203	150	68.4%	669	203	467	2,208	2,025	183	167	

※合計欄の時間外とは、「時間外」「深夜」「休日」「時間外緊急入院」の合計値とする。
※紹介率＝（紹介患者＋救急車での搬送患者）／（初診患者＋時間外等の6歳未満の受診患者）＊100%

【救急患者内訳】

	時間内	時間外	休日	深夜	合計		時間内	時間外	休日	深夜	合計
4月	158	271	218	242	889	10月	142	303	232	238	915
5月	218	364	272	253	1,107	11月	141	274	234	237	886
6月	229	403	190	260	1,082	12月	151	311	272	245	979
7月	198	393	273	285	1,149	1月	167	263	311	217	958
8月	192	369	204	262	1,027	2月	166	305	272	230	973
9月	147	250	260	236	893	3月	171	324	258	262	1,015
	合計	2,080	3,830	2,996	2,967	11,873					
	平均	173.3	319.2	249.7	247.3	989.4					

※初診（再掲）、再診（再掲）の「時間外」を「時間外」「休日」「深夜」、及び時間内の救急患者を「時間内」にて再掲

*** 入院患者数（小児科）年報 ***

対象年月： 2023年4月～2024年3月
病院： 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

小児科	新入院患者数			退院患者数			入院実 患者数	入院 延日数	在院 延日数	平均 在院日数	一日平均 在院患者 数
	新入院	時間外 緊急入院 （再掲）	転入	退院	死亡	転出					
4月	272	162	0	251	0	4	272	1,996	1,745	6.7	58.17
5月	327	201	1	336	0	1	328	2,249	1,913	5.8	61.71
6月	306	159	1	320	0	1	307	2,047	1,727	5.5	57.57
7月	325	211	0	316	1	6	325	2,096	1,779	5.5	57.39
8月	281	155	0	283	0	2	281	1,883	1,600	5.7	51.61
9月	230	152	0	238	1	4	230	1,724	1,485	6.3	49.50
10月	266	167	0	238	0	7	266	1,792	1,554	6.2	50.13
11月	248	133	0	249	1	2	248	1,857	1,607	6.5	53.57
12月	249	158	0	253	1	5	249	1,854	1,600	6.4	51.61
1月	281	187	0	265	0	3	281	1,803	1,538	5.6	49.61
2月	257	149	0	252	1	2	257	1,813	1,560	6.1	53.79
3月	282	166	0	284	0	3	282	1,981	1,697	6.0	54.74
合計	3,324	2,000	2	3,285	5	40	3,326	23,095	19,805		
平均	277	167	0	274	0	3	277	1,925	1,650	6.0	54.11

※入院実患者数＝新入院患者数＋転入患者数
※入院実患者数には、繰越患者数を含めない。

2023 年度 小児入院患者数

計 3615 名 小児入院患者数			
小児科入院患者 3310名 (NICU入院266名を含む) + 小児外科入院 305名			

入院 3 3 2 4 + 305 = 3629 名

(6) 疾患別入院患者数

2023 年度疾患別入院患者数 (総数 3615 名 : 小児科 3310 名、小児外科 305 名)

●感染症	588	●NICU	266
A 群 β 溶連菌感染症	19	極低出生体重児	4
COVID-19	59	出生体重 2500 g 以上	164
EB ウイルス感染症	1	超低出産体重児	6
アデノウイルス感染症	109	低出生体重児	92
インフルエンザ	88	(詳細は NICU 入院患者に別掲)	
ウイルス性発疹	2		
エンテロウイルス感染症	2	●内分泌・代謝	82
カボジ水痘様発疹症	1	1 型糖尿病	1
ヘルパンギーナ・手足口病・突発性発疹	24	1 型糖尿病性アシドーシス	2
化膿性関節炎・関節炎	11	2 型糖尿病	2
急性咽頭炎、扁桃炎、上気道炎	146	GM1 ガングリオシドーシス	1
急性喉頭炎・クループ	28	S GA 性低身長症	1
急性中耳炎	10	クレチン病	1
頸部リンパ節炎	16	ケトン血性嘔吐症	28
頸部化膿性リンパ節炎	2	ケトン性低血糖症	16
鎖骨部皮下膿瘍	1	ホモシスチン尿症 3 型	1
細菌感染症	1	ラトケのう胞	3
細菌性髄膜炎	2	亜鉛欠乏症	1
細菌性陰症	2	右副腎出血	1
術後感染症	2	甲状腺機能亢進症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	1	高ナトリウム血症	1
水痘	1	高プロラクチン血症	1
大腿骨髄炎	1	高度肥満症	2
毒素ショック症候群	1	思春期早発症	2
敗血症	7	成長ホルモン分泌不全性低身長症	8
皮膚感染症	3	続発性副甲状腺機能亢進症	1
鼻咽頭膿瘍	1	低カルシウム血症	1
蜂窩織炎	38	低身長症	6
無菌性髄膜炎	3	二次性カルニチン欠乏症	1
扁桃周囲膿瘍、咽後膿瘍	4	ミルク・アルカリ症候群	1
単径部リンパ節炎	1		

●アレルギー・免疫	466
22q11.2欠失症候群	1
IgA血管炎	17
IgGサブクラス欠損症	4
アナフィラキシー、蕁麻疹	74
気管支喘息、喘息発作	178
強皮症	1
抗リン脂質抗体症候群	1
高安動脈炎	1
混合性結合組織病	1
若年性皮膚筋炎	3
小児アトピー性皮膚炎	1
小児汎発性膿疱性乾癬	2
食物アレルギー	82
川崎病	85
全身型若年性特発性関節炎	2
全身性エリテマトーデス	2
多形滲出性紅斑	10
多発性関節炎	1
反応性関節炎	1

●消化器	444
イレウス	4
ウイルス性胃腸炎	127
ヒルシュスプルング病	1
メッケル憩室	1
胃食道逆流症	4
過敏性腸症候群	3
回腸クローン病	7
肝機能障害	3
急性肝炎	7
急性胆管炎	1
急性虫垂炎	40
急性汎発性腹膜炎	1
急性腹症	1

●腎臓・泌尿器	77
ネフローゼ症候群	8
陰のう内腫瘍	1
急性腎前性腎不全	1
急性腎盂腎炎	37
急性巣状細菌性腎炎	9
血尿症候群	2
重複腎盂尿管	1
水腎症	3
水腎水尿管症	2
精巣上体炎	2
多のう胞性異形成腎	1
尿管結石症	1
尿管遺残	1
排尿障害	1
末期腎不全	1
慢性腎炎症候群	2
夜尿症	1
溶連菌感染後急性糸球体腎炎	1
膀胱尿管逆流	2

●神経	315
ウェスト症候群	1
うっ血乳頭	2
うつ病	1
カフェオレ斑	1
ギラン・バレー症候群	2
くも膜のう胞	2
スタージ・ウェーバ症候群	1
セロトニン症候群	1
てんかん	57
ドラベ症候群	1
運動発達遅滞	6
横静脈洞血栓症	1
滑脳症	1

急性膵炎	8
------	---

眼球運動障害	3
--------	---

巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
血便	7
鎖肛	1
細菌性胃腸炎	21
周期性嘔吐症候群	1
十二指腸潰瘍	1
上行結腸憩室炎	1
上腸間膜動脈症候群	3
食道閉鎖	1
食物蛋白誘発胃腸炎	1
処女膜閉鎖症	1
新生児黄疸	123
胆汁うっ滞	1
胆汁性嘔吐	1
胆道閉鎖症	1
腸間膜リンパ節炎	1
腸重積症	41
潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	13
吐血	3
肥厚性幽門狭窄症	1
腹腔内腫瘍	1
便秘症	5
嘔吐症	3
肛門周囲膿瘍	1
膵管癒合不全	1
臍径ヘルニア嵌頓	1

●呼吸器	716
R S ウイルス細気管支炎	284
気管支のう胞	1
気管支炎、肺炎	407
気胸	6
気道閉塞	1
呼吸不全、無呼吸発作	3
誤嚥性肺炎	5

過換気症候群	3
解離性障害	1
顔面神経麻痺	4
気脳症	1
起立性調節障害	3
急性散在性脳脊髄炎	12
急性脳炎、脳症	18
巨大大槽	1
巨頭症	1
結節性硬化症	1
痙攣	1
腰仙部皮膚洞	5
視神経炎	2
視野障害	1
自閉症スペクトラム障害	1
自律神経性ニューロパチー	1
小頭症	1
小児心身症	1
神経障害性疼痛	2
神経性食欲不振症	1
神経線維腫症	4
脊髄係留症候群	1
脊髄小脳変性症	1
低カリウム血性周期性四肢麻痺	1
頭痛	3
乳児両側線条体壊死	1
泣き入りひきつけ	1
熱性痙攣	103
脳室拡大	1
脳性麻痺	1
脳脊髄液漏出症	1
非外傷性急性硬膜下血腫	1
微小脳出血	1
福山型先天性筋ジストロフィー	1
傍シルビウス裂多小脳回	1

喉頭軟化症	1
縦隔気腫	1
睡眠時無呼吸症候群	2
声門下狭窄	1
反復性喘鳴	1
慢性咳嗽	2
無気肺	1
●心臓・循環器	87
QT延長症候群	4
WPW症候群	1
インフルエンザ心筋炎	1
ファロー四徴症	5
右側三心房心	1
右肺動脈狭窄症	2
感染性心内膜炎	2
左上大静脈遺残	1
左室型単心室症の術後検査	1
三尖弁閉鎖症	2
上室期外収縮	4
心外膜炎	1
心室中隔欠損症	18
心房中隔欠損症	2
大動脈縮窄症	3
大動脈弁狭窄症	1
動脈管開存症	22
肺動脈弁狭窄症	1
発作性上室頻拍	1
房室中隔欠損症	7
末梢血管奇形	1
卵円孔開存症	5
両大血管右室起始症	1
●血液・腫瘍	110
Tリンパ芽球性リンパ腫	4
ウイルス関連血球貪食症候群	2

末梢神経障害	1
無熱性痙攣	37
痙攣重積発作	14
●救急・その他	159
アデノイド肥大	2
ダウン症候群	1
ピエール・ロバン症候群	1
めまい症	4
意識障害	5
異物・薬物誤飲	14
横紋筋融解	2
下肢痛	1
外傷・熱傷	48
眼瞼炎	2
急性アルコール中毒	5
急性薬物中毒	7
原発性下肢リンパ浮腫	1
口蓋裂	1
左難聴の疑い	1
催奇形性リスクの精査目的	1
小児社会的入院	16
仙腸関節痛	1
染色体異常	1
前胸部粉瘤	1
体重増加不全	3
脱水症	5
溺水	1
糖尿病母体児	1
頭蓋骨異常	1
内斜視	1
内反足	1
軟骨無形成症	1
乳房のう胞	1
熱中症	1

ランゲルハンス細胞組織球症	1	脳出血後水頭症の術後検査	1
悪性下垂体腫瘍	1	脳皮質下出血の術後検査	1
遺伝性血栓性素因による特発性血栓症	1	霰粒腫	1
急性白血病	38	皮下腫瘍	7
血小板減少症	3	不明熱	4
好中球減少症	3	予防接種後発熱	3
再生不良性貧血	1	哺乳障害	10
特発性血小板減少性紫斑病	6	膀胱腫瘍の術後検査	1
軟部腫瘍	1		
乳児血管腫	27		
脳腫瘍	11		
皮下腫瘍	2		
非定型奇形腫様／ラブドイド腫瘍	2		
卵巣のう腫茎捻転	2		
卵巣胚細胞腫瘍	4		
膀胱腫瘍	1		

NICU・GCU入院患者（266名）			
<出生体重別>			266
超低出生体重児（～999g）			6
極低出生体重児（1,000～1,499g）			4
低出生体重児（1,500～2,499g）			92
出生体重2,500g以上			164

人工呼吸管理 14例 nasal CPAP 22例 新生児搬送 113例

人工呼吸管理 14例 nasal CPAP 22例 新生児搬送 113例			
呼吸器疾患	84	神経疾患	43
新生児一過性多呼吸	52	正期産児無呼吸発作	20
胎便吸引症候群	11	重度新生児仮死（低体温療法）	2
新生児呼吸窮迫症候群	8	軽度新生児仮死	12
エアリーク	6	薬物離脱症候群	4
慢性肺疾患	3	新生児痙攣	3
羊水吸引症候群	1	脳室内出血	1
気道狭窄	1	脳室周囲白質軟化症	1
肺分画症	1		
先天性乳び胸	1		

循環器疾患	32
心室中隔欠損	9
未熟児動脈管開存症	4
不整脈	4
房室中隔欠損	3
フォロー四徴症	3

大動脈縮窄	1	内分泌代謝疾患	36
肺動脈狭窄	1	一過性低血糖（高インスリン血症を除	29
総肺静脈還流異常	1	先天性高インスリン血症	3
部分肺静脈還流異常	1	新生児バセドウ病	1
両大血管右室起始	1	クレチン症	1
新生児遷延性肺高血圧	1	軟骨無形成症	1
肺高血圧	1	ニーマンピック病C型	1
正期産児動脈管開存症	1		
僧帽弁逆流	1		
感染症・免疫	19	先天奇形症候群	9
新生児感染症（疑い症例を含む）	14	ダウン症候群	5
COVID19感染症（疑い症例を含む）	3	ソトス症候群	1
新生児TSS様発疹症	1	Goldenhar症候群	1
先天性サイトメガロウイルス感染症	1	Pierre-Robin sequence	1
		シミター症候群	1
血液・腫瘍性疾患	2	その他	35
先天性貧血	1	ABO不適合性重症黄疸	5
多血症	1	その他の重症黄疸	4
		帽状腱膜下出血	8
消化器・小児外科疾患	19	哺乳不良、体重増加不良	6
初期嘔吐	8	先天性水腎症	1
新生児メレナ	2	巨大頭血腫	1
胆汁うっ滞	2	その他分娩外傷	1
巨大卵巣嚢腫	1	大頭症	1
肥厚性幽門狭窄	1	口唇口蓋裂	2
小腸部分拡張症	1	墜落産	1
ミルクアレルギー	1	未受診妊婦出生児	3
ヒルシュスプルング病類縁疾患	1	sudden unexpected postnatal collapse	1
尿道下裂	1	副腎出血	1
総排泄腔遺残	1		
計 3615 名 小児入院患者数			
小児科入院患者 3310名（NICU入院266名を含む）+ 小児外科入院 305名			

主たる疾患別平均在院日数

急性喉頭炎、クループ	3.6 日
気管支炎、肺炎	5.2 日
R S ウイルス細気管支炎	4.6 日
インフルエンザ	4.1 日
喘息、喘息性気管支炎	4.6 日
急性胃腸炎	4.1 日
細菌性胃腸炎	5.3 日
腸重積症	3.8 日
腎盂腎炎	7.0 日
髄膜炎	15.4 日
敗血症	8.7 日
アレルギー性紫斑病	9.8 日
川崎病	14.0 日
脳炎、脳症	7.7 日
超低出生体重児	109 日
極低出生体重児	45.3 日